

# 歯科治療に 不安を持っている 皆さんへ



庄原市歯科医師会

きよみはら まさき  
**清見原 正騎**

意識がある状態で恐怖感や不安感を取り除き、歯科治療をする方法があることを知っていますか？

歯科疾患は、昔から痛みとの闘いでした。多くの方が歯科治療は痛いもの、不快なものという先入観を持っています。「治療に伴う少々の痛みは我慢しなければならない」という思いから、早期に歯科医院を受診することを拒んでしまっている人もいとを考えられます。

そこで、「本来医療は、少しでも患者の苦痛を和らげるようにすべきである」という考え方から行われている治療法が、精神鎮静法です。精神鎮静法とは、精神的緊張を軽減し意識を失うことなく痛みの感覚を和らげ、リラックスした状態で治療を受けることです。その中で比較的安全な「笑気<sup>\*</sup>吸入鎮静法（笑気ガス）」について説明します。

笑気ガスは、鎮静、睡眠、鎮痛作用を持っており、その歴史は古く 1844 年に笑気ガスを利用して拔牙を行ったことが始まりといわれています。吸入すると速やかに効果が出ます。そして、中止すれば直ちに効果が無くなり、吸入中止後数分で帰宅可能となります。また、呼吸器や循環器にほとんど影響がありません。従って、心臓、肺に障害のある人も安全に使用できます。また、体内で分解されないため肝臓に負担を掛けません。

使用方法は、笑気と酸素の混合ガスを笑気の濃度 30% 以下（空気中の酸素濃度 21%）で吸入します。

使用感は、10～20%濃度の吸入で手足が温かくなり、体が軽くなった感覚と遠くで音がするような、周囲に無関心な感覚になります。

歯科治療に恐怖心のある人、心疾患・高血圧などの持病があり歯科治療のストレスを軽減すべき人、嘔吐反射の強い人などに適しています。

詳しくはかかりつけ歯科医にご相談ください。

※亜酸化窒素

